

神居まちづくり推進協議会 会議録 令和6年度第1回

会議概要	
日時	令和6年5月22日(水曜日)午後6時00分から午後7時55分まで
場所	神居公民館大会議室
出席者	委員12名（正副会長以外は五十音順） 小平会長，三本副会長，青木委員，赤間委員，浅野委員，荒木関委員，大河委員，中島委員，永田委員，楡委員，長谷川委員，林委員 （欠席者 松浦委員，美浪委員） 事務局 樽井市民生活部長 神居支所 小松支所長，成田副支所長，中西 神居公民館 西村館長
会議の公開 ・非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1 神居まちづくり推進協議会委員名簿
	資料2 旭川市地域まちづくり推進協議会設置要綱
	資料3 神居まちづくり推進協議会の会議ルール
	資料4 令和6年度地域で使える補助制度
	資料5 神居まちづくり推進プログラム

※本文では、「神居まちづくり推進協議会」を「神居まち協」と表記する。

1 開会

事務局から，欠席者の報告，配付資料の確認を行った。

2 市民生活部長あいさつ

神居まちづくり推進協議会開催にあたっての挨拶があった。

3 委員及び事務局の紹介

令和6年度の委員及び事務局職員の紹介が行われた。

4 会議の運営方法について

(1) 会長選出

互選により、小平委員が会長に選出された。

(2) 副会長選出

三本委員が副会長に指名された。

(3) 会議のルールの確認について

事務局から、資料3「神居まちづくり推進協議会の会議ルール（案）」を基に説明した後、会議は公開とし、後日会議録を公表することなどを確認した。

5 協議事項

(1) 旭川市地域まちづくり推進協議会事業補助金・負担金について

資料4「令和6年度地域で使える補助制度」を基に、事務局から神居地区の令和6年度事業補助金、行政提案型事業で使用できる負担金についての説明があった。

(2) 神居地域のまちづくりの検討と推進について

ア 令和6年度神居まちづくり推進事業について

資料5「神居まちづくり推進プログラム」を基に、事務局から令和6年度の事業実施に向けての説明があった。

イ 令和6年度神居まちづくり推進事業について

資料5「神居まちづくり推進プログラム」を基に、会長を中心として、令和6年度神居地区の実施事業テーマ（事業の方向性）の決定に向けての意見交換が行われ、次回会議で提案されたテーマに基づき、詳細な内容を決定することとした。

各委員等の主な発言概要は、次のとおり。

(会長) 今年もテーマをもって、事業を実施していきたいと思っている。自由に議論してほしい。

(委員) 現在地区ごとの事業になってしまっており、自分の地区以外でどういったことが行われているのかがわからない。

(委員) 神居地域全体で協力して取り組めるような事業を考えていくべきだ。

(委員) どういった世代を狙った事業にするのかを考えていく必要がある。

(委員) 子どもたちに向けた事業がいいと思う。

(委員) いま行われている事業では、夏まつりインカムイは地域を代表する大きなイベントだと思う。

(委員) 全く新しい事業を初めから作り上げていくのは中々困難であるため、夏まつりインカムイに神居まち協として参加するのはどうか。過去に、神居まち協のブースを作って展示を行った経過もあった。

(委員) 去年は夏まつりインカムイの中で、消防車を展示したり、防火服を着用して記念撮影できる事業を子ども向けに行った。

(委員) 異世代間交流として、七夕まつりも盛況であり、子どもたちも楽しそうに参加していた。

(委員) 神居まち協は中心地に近いところ、郊外を含めて協力していく必要がある地域である。そのため、どこで開催するのかも含めて、エリア全体の活性化につながるようなもの考える必要がある。

(委員) こういった異業種の人たちが集まる会もなかなかないので、立場などにとらわれず、まち協全体で協力して実施に向けて動いていくことが必要だと思う。

(会長) 夏まつりインカムイの中で神居まち協として何かできることはないか、七夕まつりのような子どもに向けた事業としてできるものはないかという大きな二つのテーマが出たと思う。この2点を中心として、2つのグループに分かれて、話し合いをしていってほしい。

各グループの委員の主な発言概要は次のとおり。

(夏まつりインカムイの中でのまち協事業を検討するグループ)

(委員) 神居まちづくり推進プログラムの重点活動といった内容に絡めて事業を考えていったほうがいいのではないか。

(委員) 夏まつりインカムイの中でブースを設けて、神居まち協をアピールするのはどうか。活動についてのパンフレットを配ったり、子どもたちに向けて、竹とんぼ作りを教えたりするのはどうか。

(委員) 竹馬作り、竹とんぼ作りといったものであれば、キットが売っているので、そういったものを使っていく方法もあると思う。

(委員) そういった事業の流れでできれば、色々な地区で行う際のモデルにできるのではないか。

(委員) こういった楽しい事業をしてくれたのが、神居まち協なのだと思ってもらうことができれば、こちらにとっても有意義だと思う。

(委員) 神居まち協としては、協力という形で準備段階から手伝うことも必要だと思う。
旭川信金など他の団体からも協力をもらっている。

(子どもたち向けの事業を検討するグループ)

(委員) 異世代間交流事業として、七夕まつりを行ったが、去年は雨天だったので、事前に用意していた体育館で開催した。そういった状況の変化にも対応できるように準備していくことが必要だ。

(委員) 開催場所としては神居中央公園がいいのではないか。他の場所はすでにサッカーや野球で使われていることが多い。

(委員) 運動会のような事業で各世代が参加できる内容で考えてみるのはどうか。

(委員) 各世代が来られるように、地区を変えて、輪番制で開催していくのもいいかもしれない。

(委員) 地区によっては、人を集めたりするのが中々難しいのではないか。

(委員) 参加する子どもたちにとって、いい思い出となるような事業にしていきたい。

(委員) 中心部で開催すると参加者が多いのは確実だと思うが、農村地区での活性化につながるような事業を考えることもまち協としては必要だと思う。神居古潭をめぐるツアーを企画するなど、発信していきたいところはある。

(委員) オフシーズンにはカムイスキーリンクスの駐車場は空いているので、そこを活用して、消防車、はしご車を呼んだりといったことは可能だと思う。

(委員) はしご車で高いところに登れるなら、大人も楽しめると思う。他に収穫祭など大人も楽しめるようなイベントも考えていくことも必要だ。

(3) その他

事務局から、次の2点について説明があった。

- ・実行委員会実践交流会について
- ・令和6年度「旭川市民の日」まちづくり表彰募集要項について

次回開催は、6月27日(木)とすることを決定した。

6 閉会